

## 琉球文化ルネサンスを議論する背景

令和4年、沖縄県は本土復帰50年という大きな節目の年を迎える。また、新たな沖縄振興計画のスタートや首里城正殿の復元をはじめとする復興関連事業が本格的に開始することから、県内及び国内外において、沖縄の歴史や文化への理解を深め、新たな文化や生活スタイルを生み出す大きな活動（琉球文化ルネサンス）に繋げていく絶好の機会である。

⇒ 県内各地の歴史や伝統文化等について、幅広い視点からその可能性等について議論し、沖縄県としての一体的な取組につなげていく。

## 琉球文化の性格

琉球文化とは、亜熱帯島嶼の精神的・風土的要素をもとに、歴史的経緯や海外との関係性により形成された多様かつ独自性の高いものである。

### 広い島嶼圏にある個性豊かな地域性

亜熱帯の気候風土、広範囲に島が広がる島嶼性など多様な環境を背景に形成された地域性の強い文化。

### 自然への畏敬の念や祈りの精神性

雄大な海や緑を目にした人々が自然への畏怖から生み出した世界観や精神性。信仰や祭祀、民俗芸能などの基礎となる。

### 琉球王国の体制下で洗練された芸術性

王族、上級階層の生活や外交の中で洗練され、庶民階級や地方にも波及し、伝統文化の骨格となった。

### 外来文化を取り込み発展させた国際性

世界との交易や、長い歴史の過程で様々な交流を通じて積み上げられてきた国際性豊かな性格を持つ。

## 琉球文化の本質的価値

自然に対する畏怖や祈りに基づく祭祀・信仰、伝統行事や芸能等といった地域の文化は、琉球文化の本質的価値を構成する重要な要素として、島嶼圏の広がりとともに、個性豊かな地域性を持ち、今日に伝えられている。

また、長い歴史の中で、海外から多様な文化を受容し、自らの文化としてきた沖縄の人々の力強さや包容力そのものにおいても、価値あるものである。

⇒ 琉球文化ルネサンスを議論する上では、「本質的価値」の部分を守りつつ、時代の変化に合った文化の価値を創造していく必要がある。

## 琉球文化ルネサンスとは？

県民が歴史・文化の理解を深め、それを大切にしつつ、日々の生活の中で関わりながら、新しい文化の価値や生活スタイルを創造する、その大きな活動のこと

## 琉球文化ルネサンスのビジョン（将来像）（案）

- 県民一人ひとりが地域の歴史・文化への理解を深め、自信と誇りを持つ。
- 日々の生活の中で琉球文化に触れることで、その価値を再認識するとともに、その魅力を県内外に広めていく。
- 琉球文化ルネサンスをととして、琉球文化の新たな価値の創出や産業振興に結びつける。

## 琉球文化ルネサンスの実現に向けた課題

### （1）琉球文化を一体的にとらえた戦略的取組の必要性

- 琉球文化には（しまくとぅば、芸能、工芸、空手、食文化など）様々な分野があり、各分野において、その継承・発展に向けた取組を行っている。
- 琉球文化ルネサンスの実現に向けては、個別の取組だけでなく、琉球文化を一体的にとらえ、総合的に進めるという視点（方向性）を持ち、あらゆる関係者（県、市町村、企業、文化活動を行う団体、個人等）や各分野における既存の取組が連携しながら、戦略的に取組を進める必要がある。

### （2）持続可能な仕組みづくり

- 文化活動を一体的かつ継続的に推進するための仕組みづくり
- 沖縄の文化情報を総合的に収集・発信するプラットフォームの構築
- 文化に関わる人材（実演家や職人、マネジメントの人材等）が継続して活躍するための仕組みの構築
- 文化活動を支援する人材・団体への共感を広げるような取組の検討

### （3）文化的価値の普及・啓発

- 文化の魅力や歴史的背景、本質的価値を含めた普及・啓発の必要性
- 文化に関わる関係者との連携による普及・啓発の必要性
- 専門性を持った人材（担い手）の育成やカリキュラム（体制）の構築

### （4）新たな価値（魅力）の創出

- 今後20、30年後の沖縄や世界の状況を見据えた上で、デジタル技術などの琉球文化への活用
- 沖縄の歴史・文化を他産業（観光産業など）へ活用するための検討

## 今後の議論の方向性（案）

新たな振興計画や関係部局における個別施策（計画）の方向性を踏まえ、将来の沖縄や世界の状況を見据えたうえで、琉球文化をどのように活かしていくか広い視点での議論を進める。

### （1）琉球文化を一体的にとらえ、継続させるための仕組みづくり

文化に関わるあらゆる関係者（県、市町村、関係団体・個人、民間企業等）や既存の取組が連携し、一体的かつ継続的に取り組むために必要な事項について

### （2）琉球文化ルネサンスの実現に向けたテーマ別、段階的取組について

仕組みづくりに関わる、個々の具体的な取組の方向性について

### 一体的・継続的な仕組みづくり

伝統的価値の普及・啓発  
効果的な発信

新たな価値（魅力）の創出  
既存の取組を踏まえた展開